資料2－4

■令和8年度 第1回大阪府シカ･イノシシ保護管理検討会（R8.8.31）での主な意見との対応について

対象	項目	意見	対応
シカ計画	7.（2）	下層植生の衰退については、目標のみではなく、具体的な対策を記載するべきである。	「被害が大きい区域においては、個体数管理と併せて必要に応じて防護柵の整備等により森林生態系の保全及び植生の回復に努めること…」を記載しました。
シカ計画	5. 6.(2)1) 7.(3) 8.(1)	河内長野市周辺は江戸時代から明治時代までシカが生息していたエリアであるため、「シカの本来の生息地ではない中南部地域」ではなく「近年はシカの生息地ではない中南部地域」等の表現にするべきである。	「近年、シカの生息地ではない」等の表現に修正しました。
シカ計画 イノシシ計画	12.（1）	和歌山県から流入してきている恐れがあるため、和歌山県側の鳥獣保護区での捕獲を強化する旨記載いただきたい。	「必要に応じて、年1回程度隣接府県との情報共有や意見交換を実施する。」と記載しました。併せて、シカ管理計画についても同文言を追記しています。
イノシシ計画	12.（2）	豚熱の感染率がわかるグラフ等を記載すること。	表を記載しました。